

校長あいさつ

神奈川県立横浜南支援学校
校長 峰尾 智子



神奈川県立横浜南支援学校のHPをご覧くださいありがとうございます。

本校は、県立こども医療センター内に設置された病弱特別支援学校です。本校の歴史は、昭和45年4月1日、神奈川県立ゆうかり養護学校分校が県立こども医療センターに併設されたことに始まり、約50年の歴史があります。県立精神医療センターにも学級をもち、2つの病院に入院・入所し、学校教育を希望する学齢児童・生徒に、準ずる教育課程、知的代替の教育課程、自立活動を主とする教育課程での教育を行っています。

1年間に約350件の転出入があり、60～90人程度の児童・生徒が在籍する小さい特別支援学校ですが、全国の学校から転校があるととても広がりのある学校でもあります。

また、本校は、病弱教育部門の特別支援学校として、医療が必要な児童・生徒が安心して学習できるように工夫を続ける学校です。不安やストレスをやわらげ、年齢に応じた心を育て、適切なコミュニケーションができるように指導・支援することも重視しています。センター的機能として病気療養が必要なお子さんの教育についての相談もお受けしていますので、気になること、ご質問等がありましたら、気軽にご連絡ください。

令和6年5月1日

横浜南支援学校ってどんな学校？

横浜南支援学校には、教室、病棟内の学習スペース、施設内居室、ベッドサイトなど色々な場所で学ぶ児童・生徒がいます。治療や感染症流行の関係で全員が一つの場所に集まることができないため、webをフル活用して学習や学校行事、仲間作りをしています。令和6年3月、10月に実施したwebを駆使して多様な参加形態をもつ文化祭で、教育長表彰されました。

どこにいても誰でも参加できるICTを活用した文化祭

病院の中でも外でも

録画で発表と生中継

体育館フロアでステージ発表

コロナの制限のため参加児童生徒と1家族1名だけ体育館で観覧

〇〇さんは配信を見ながら楽しそうに睡っていました By教員

こども医療センター 病棟内でオンライン視聴

重心施設内からの生中継と視聴

在宅期間中の本人が視聴

家族が視聴

医療は強いところを治す。学校はいいところをのびす 町医長

丹が各学級でオンライン視聴

精神医療センター